

1. 科目名 (単位数)	地域福祉論 (4 単位)	3. 科目番号	SPMP2104 SSMP2104 SCMP2104 SBMP2104
2. 授業担当教員	中土 純子		
4. 授業形態	講義、グループディスカッション・作業及び発表	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	地域福祉の基本的な考え方、主体と対象、係る組織、団体及び専門職や地域住民、地域福祉の推進方法を学ぶとともに、地域援助技術としてのコミュニティワーク、コミュニティソーシャルネットワークの実践方法を身につける。		
8. 学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉の基本的考え方（人権尊重、権利擁護、自立支援、地域生活支援、地域移行、社会的包摂等を含む）について説明できる。</li> <li>・地域福祉の主体と対象について理解し説明できる。</li> <li>・地域福祉に係る組織、団体及び専門職の役割と実際について把握することができる。</li> <li>・地域福祉におけるネットワーク（多職種・多機関との連携を含む。）の意義と方法について把握し、その実際について説明できる。</li> <li>・地域福祉の推進方法（ネットワーク、社会資源の活用・調整・開発、福祉ニーズの把握方法、地域トータルケアシステムの構築方法、サービスの評価方法を含む。）について理解し説明できる。</li> </ul>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 講義内容に関する課題（確認テスト/レポート）を複数回実施する。</li> <li>2. 課題の詳細は講義内で提示する。</li> </ol>		
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】 『新・社会福祉士養成講座 9 地域福祉の理論と方法』中央法規出版。</p> <p>【参考書】 東京福祉大学編『新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規。 東京福祉大学編『教職科目要説（初等教育編）』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『教職科目要説（中等教育編）』ミネルヴァ書房。</p>		
11. 成績評価の規準と 評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域福祉の基本的考え方（人権尊重、権利擁護、自立支援、地域生活支援、地域移行、社会的包摂等を含む。）について理解する。</li> <li>2. 地域福祉に係る組織、団体及び専門職の役割と実際について理解する。</li> <li>3. 地域福祉におけるネットワーク（多職種・多機関との連携を含む。）の意義と方法及びその実際について理解する。</li> <li>4. 地域福祉の推進方法（ネットワーク、社会資源の活用・調整・開発、福祉ニーズの把握方法、地域トータルケアシステムの構築方法、サービスの評価方法を含む。）について理解する。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 受講態度・参加姿勢等 40%（全授業の3/4以上の出席が必要）遅刻（10分程度迄）は3回で1回休みとなる。 40%</li> <li>2. 試験及びレポート 60%</li> </ol>		
12. 受講生への メッセージ	受講態度や姿勢、提出物に関しては、「他人に迷惑をかけない」こと「提出期限を守る」ことを求めます。講義の進捗状況・理解度等によって、シラバスの内容が前後する場合があります。		
13. オフィスアワー	初回の講義で通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション (シラバス、講義概要、レポートについての説明等)	事前学習	教科書の「はじめに」を読み、学習内容の全体的なイメージをつかむ。
		事後学習	地域福祉を学ぶ意味について理解を深める。
第2回	第1章 新しい社会福祉システム① (地域福祉の発展過程)	事前学習	第1章 (pp. 1~33) を読む。
		事後学習	地域福祉の発展過程を整理して理解する
第3回	第1章 新しい社会福祉システム② (福祉コミュニティ)	事前学習	第1章 (pp. 1~33) を読む。
		事後学習	地域福祉とコミュニティについて整理する。
第4回	第2章 地域福祉の基本的な考え方① (地域福祉理論とその理念)	事前学習	第2章 (pp. 35~56) を読む。
		事後学習	地域福祉理論の発展と広がり、地域自立生活支援と地域福祉の理論を整理する。
第5回	第2章 地域福祉の基本的な考え方② (地域における連携体制)	事前学習	第2章 (pp. 35~56) を読む。
		事後学習	地域のとらえ方と福祉圏域、地域コミュニティ型組織とアソシエーション型組織の有機的連携について整理する。
第6回	第3章 地域福祉の主体と福祉教育	事前学習	第3章 (pp. 57~76) を読む。
		事後学習	地域福祉の主体と福祉教育、地域福祉の主体と福祉教育の歩みを整理する。
第7回	第4章 行政組織と民間組織の役割と実際① (地域福祉計画)	事前学習	第4章 (pp. 77~132) を読む。
		事後学習	社会福祉における地方分権と地域福祉計画、社会福祉協議会の役割と実際を整理する。

第8回	第4章 行政組織と民間組織の役割と実際② (社会福祉法人と市民活動)	事前学習	第4章 (pp. 77～132) を読む。
		事後学習	社会福祉法人の役割と実際、特定非営利法人の役割と実際のボランティア活動を整理する。
第9回	第4章 行政組織と民間組織の役割と実際③ (福祉コミュニティビジネス)	事前学習	第4章 (pp. 77～132) を読む。
		事後学習	民生委員・児童委員、保護司、福祉コミュニティビジネスと企業の社会貢献を整理する。
第10回	第5章 コミュニティソーシャルワークと専門職の役割 ① (コミュニティソーシャルワークの概念)	事前学習	第5章 (pp. 133～172) を読む。
		事後学習	コミュニティソーシャルワークの考え方、コミュニティソーシャルワークの展開とシステムを整理する。
第11回	第5章 コミュニティソーシャルワークと専門職の役割 ② (展開プロセスと地域アセスメント)	事前学習	第5章 (pp. 133～172) を読む。
		事後学習	コミュニティソーシャルワークの方法を整理する。
第12回	第5章 コミュニティソーシャルワークと専門職の役割 ③ (専門職と住民の役割)	事前学習	第5章 (pp. 133～172) を読む。
		事後学習	専門多職種チームアプローチとコミュニティソーシャルワーカーの役割を整理する。
第13回	第6章 住民参加と方法① (住民参加の形態)	事前学習	第6章 (pp. 173～194) を読む。
		事後学習	地域福祉推進における住民参加の意義、市町村社会福祉行政における住民参加について整理する。
第14回	第6章 住民参加と方法② (地域福祉への参加保障)	事前学習	第6章 (pp. 173～194) を読む。
		事後学習	住民代表性と参加方法について整理する。
第15回	第7章 ソーシャルサポートネットワーク① (ネットワークづくり)	事前学習	第7章 (pp. 195～212) を読む。
		事後学習	ソーシャルサポートネットワークの考え方と位置、ソーシャルサポートネットワークとエコロジカルアプローチを整理する。
第16回	第7章 ソーシャルサポートネットワーク② (アセスメントから支援計画へ)	事前学習	第7章 (pp. 195～212) を読む。
		事後学習	事例の内容を振り返り、ソーシャルサポートの多面性、支援計画を整理する。
第17回	第8章 地域における社会資源活用・調整・開発① (社会資源の活用)	事前学習	第8章 (pp. 213～238) を読む。
		事後学習	社会資源の概要、社会資源の活用とコーディネートについて整理する。
第18回	第8章 地域における社会資源活用・調整・開発② (福祉サービスの活用)	事前学習	第8章 (pp. 213～238) を読む。
		事後学習	福祉サービスの開発、税制優遇と助成金の活用を整理する。
第19回	第8章 地域における社会資源活用・調整・開発③ (ソーシャルアクション)	事前学習	第8章 (pp. 213～238) を読む。
		事後学習	まちづくりとソーシャルアクションについて整理する。
第20回	第9章 地域における福祉ニーズの把握方法と実際① (アウトリーチの意義)	事前学習	第9章 (pp. 239～252) を読む。
		事後学習	地域福祉におけるアウトリーチの意義、質的な福祉ニーズの把握方法と実際を整理する。
第21回	第9章 地域における福祉ニーズの把握方法と実際② (福祉ニーズの把握)	事前学習	第9章 (pp. 239～252) を読む。
		事後学習	量的な福祉ニーズの把握方法と実際。
第22回	第10章 地域トータルケアシステムの構築と実際① (地域トータルケアシステムの展開)	事前学習	第10章 (pp. 253～279) を読む。
		事後学習	地域トータルケアシステムの必要性と考え方、地域トータルケアシステムの展開方法を整理する。
第23回	第10章 地域トータルケアシステムの構築と実際② (地域トータルケアシステムの構築事例)	事前学習	第10章 (pp. 253～279) を読む。
		事後学習	地域トータルケアシステムの事例、ソーシャル従事者の研修と組織化を整理する。
第24回	第11章 地域における福祉サービスの評価方法と実際① (福祉サービスの評価)	事前学習	第11章 (pp. 281～298) を読む。
		事後学習	福祉サービスの評価を必要とする背景、評価の考え方を整理する。
第25回	第11章 地域における福祉サービスの評価方法と実際② (福祉サービスのプログラム評価)	事前学習	第11章 (pp. 281～298) を読む。
		事後学習	福祉サービスの評価の方法と実際を整理する。
第26回	第12章 災害支援と地域福祉① (災害支援の方法)	事前学習	第12章 (pp. 299～312) を読む。
		事後学習	災害支援の考え方と方法を整理する。
第27回	第12章 災害支援と地域福祉② (災害支援の実際)	事前学習	第12章 (pp. 299～312) を読む。
		事後学習	災害支援の実際を整理する。
第28回	第13章 日本の地域福祉に影響を与えた海外の考え方① (イギリスのコミュニティソーシャルワーク)	事前学習	第13章 (pp. 314～329) を読む。
		事後学習	イギリスの地域福祉について整理する。

第29回	第14章 日本の地域福祉に影響を与えた海外の考え方 ② (アメリカのコミュニティソーシャルワーク)	事前学習	第13章 (pp. 314~329) を読む。
		事後学習	アメリカの地域福祉について整理する。
第30回	総まとめ	事前学習	これまでの授業内容を整理する。
		事後学習	重要事項をまとめ、理解を深める。
期末試験			